

東京学芸大学学術調査フィールドノート2001年

月日	場所、収集番号	メモ内容
01-9-30		11:45、AI301は成田から離陸した。 16:45 (20:15JP)にDelhiに着陸する。旅行者の若い社員23歳が迎えに来ていた。デリー大学の政治学部を出て、 日本文化センターで日本語を習ったという。政治家の通訳になるのが夢だといっている。 18:00過ぎにRanjit Hotelに着く。4年前に北インド調査の帰りにMr. Manturと泊まったところだ。時差があり遅いので、夕食抜きで寝ることにした。
01-10-1		5:00にコーランの誦詠で目が覚めた。体を洗って小物の整理をした。 8:00、3人で朝食、今回は石川さんとそまと一緒に、Rashmiさんの結婚式にも出る予定である。 10:00にコンノートプレイスに行こうとした所、過剰に親切な通行人がおり、ITDCのofficeに連れて行かれた。 成り行きでtaxiを借り、ラクシュミーナーラヤン寺院、インド門、動物園、オールドフォート、ジャンパスホテルとめぐった。 14:30-15:30、Janpath Hotelで昼食をしてから、いつものKashimriの店に寄った。彼は居たが、歳をとり、よい老人に向っている。アメリカの件で客が減ったという。細かいやり取りは省略する。 動物園の人出は著しく多い。昨日有力者が航空機事故でなくなったらしく、政府機関は休みらしい。これと関係があるのかな?園内にneemの木は多く、再確認した。<i>Setaria</i> spp.2種、<i>Panicum</i> sp.1種、<i>Digitaria</i> sp.、<i>Eleusine indica</i>が生えていた。 16:00にRanjit Hotelに戻り、洗濯してから昼寝した。30℃以上あり、暑くて2人とも少し疲れたのかもしれない。 19:40に停電があり、雷のためか、1分後に点灯する。国立博物館は月曜日やすみ。 20:00に旅行会社のお兄さんから電話、航空会社が不明らしい。9wはjetway ; S2はsahara airである。これらは terminal 1 B, (T-1AがIC用)。会社勤めなのに知らないのは怪しい者だ。 20:20、Lotusに夕食に行く。客他に一人。4重奏もあくびをしていた。 21:20、それぞれに引き上げる。大声の音楽が響き始める。何事だろうか、ちょっと寝られない音量である。
01-10-2		4:20、一旦目が覚めた。コーランの誦詠が5:00前。 6:30、に体を洗う。カッターシャツが乾かず、省略。 8:00、朝食。

9:30にコンノートに向う。駅越えして横丁を通り、通りに出る。大半お店はM. Ganjiの誕生日で休み。政府系の店のみ開いており、「不」親切にも、「過剰」親切にも導かれてしまった。道で話しかけられることしきりで、疲れてしまった。

Macでマハラジャバーガーを食べようといいつつ、インペリアルホテルで昼食をした。確かに、renewalして、5星ホテル

になったと思う。マサラドーサとイドリを食べて、1200Rsは、相当高い値段である。

14:00過ぎにRanjitに戻る。休日だからか、学生と称する人々が多く、話しかけられて閉口した。この間、庭で

ドンチキドンチキやられて、最悪であった。このところかまわないのがインド人だ。

20:00まで休むことにした。夕食はbryani、savji、paneerなどを食べた。

21:30に体を洗って、寝た。

5:00に起きて、packing。

6:30にtaxiをつかまえて、空港terminal1Bに向かう。9w815 jetairway to Bangalore.

7:30、早く着きすぎたところに、1時間ほど遅れた。パイとthaiを飲む。

8:30にチェックインする。Excessがなくてよかった。

10:45に離陸する。

13:40にBangaloreに着いた。Dr. Seetharamが迎えに来ていた。大学のゲストハウスに向かう。

15:10、少し休憩後に、MG. roadに買い物に行く。ピザ屋に入る。高級店ばかりになっていることに驚く。

15:300、ゲストハウスに帰る。20:00打ち合わせ。22:00に寝る。

ゲストハウス内の路傍には*S. glauca*が生えている。

Delhiでは*Eluesine indica*、*Pennisetum glaucum* (鳥の餌)、動物園で*Panicum* sp.を見た。

5:20、起きる。

6:00、水浴、冷たい。夜も寒く、毛布1枚では不足であった。服を着て寝ないと風邪を引きそうである。蚊は1匹いたが、

はたいた時に逃げられた。電気蚊取器は効くのか、実際に84時間も電池が持つのか、疑問である。

700a、お茶。820a、シタラムさんと朝食後、jeepでUASに行き、スケジュールの打ち合わせをする。

APはManturさんが、OrissaはJayarame Gowdaさんが同行することになった。

10:00に農場と植物園を見学する。旧来のCanteenはなくなって、新棟ができていた。コーヒーとidliしか出さない。

植物園内の東屋のnon-veg給食もなくなっていた。省略。

14:30過ぎにゲストハウスに着く。石川さんが少しの標本を整理。ミカンを食べる。省略。

01-10-3

01-10-4 Bangalore

01-10-5

20:00まで待っても夕食がないので、聞いてみたらないとのことで、スナックを食べてすごした。
22:00に寝る。
6:30に起きる。

8:30にdriverが来て、観光に付き合ってくれた。Larbarg植物園。Pakati赤紫のマメの花。省略。

11:30、シタラムさんの姉さんの店、現在は子息が経営、パンジャビードレスとシート代わりに綿のサリーを買う。

その後、MG. roadで中華昼食。Nirgilsで果物を買って帰る。

15:00、935m、28.3℃。ゲストハウス。

ラルバークは大きく変化して、美しくなったが、面白みがなくなった。見所はBombax 樹齢800年位か。

19:20に停電。原稿の直しをしていた。19:30から雨。24.7℃.

22:30、夕食。

01-10-6

5:4aに起きる。ヨーグルトのせいか、若干ごろごろする。AP州境の調査地のルートを考えて。

6:40、23.9℃, 915m。昨夜から雨、激しくはないが、珍しく多量で連続している。

7:00、お茶。今のところほとんど蚊はいない。蚊取り線香はきつい。寝る前だけにしておこう。

8:00に朝食。

8:30、UASに行く。旅行日程の打ち合わせ。

12:00前に、Shivanandaiahさん宅に行き、昼食をいただく。

15:00、ゲストハウスに戻る。

16:00、TV, Newspaperを見る。Israel発の飛行機が黒海に墜落した。Delhi発NY行きのIC815が一連の事件に

関係しているらしい。資金の運搬か。UzbekにはUSA Armyがすでに到着しており、双方が臨戦態勢に入っているようだ。

①Oct8-10: Cittoor. ②Oct.15-22: Orissa。シタラムさんはデリーからラニチュリに1週間出かける。

Shivanandaiahさん宅に行く。皆元気で、孫も大きくなっていた。Jagadeshさんに車で送ってもらった。Yelahankaも

発展して、4年前とは大きく変化して、人出が多くなっていた。立てかけだったビルが、shopping centerになっていた。

女性の電話屋は別の店になっていた。他の”tax”店で日本に電話した。八百屋は休みだったが、菓子屋、文具屋は

01-10-7

覚えていてくれた。BangladeshのDakkaでは反米デモがあった。

7:00に起きて、お茶、シャワー。

7:39、くもりか?、915m、23℃. 明け方は寒く、セーターがほしい。薄毛布1枚では寒い。

Bangaloreは特別にあわただしい様子はない。空軍も陸軍も居るが、動いている様子はない。平穏な日常と思われる。

遠くからコーランは定時に聞こえてくる。

8:10、MG. roadに行ったが、ガンガラムは休みだったので、隣接の他の本屋に入った。National Book Centerも

Nirgilsも休みであった。Shangliraで昼食。ベストを買った。ゲストハウスにはリンゴをあげた。

14:03にゲストハウスに戻る。荷物の分別、packing、新聞読み。

15:56、小雨が振り出して直ぐに止んだ。23.6°C, 940m。昼頃は晴れていた。

18:26、23.8°C, 930m。雨はまたふったが止んでいる。また停電になった。20分くらいで点いたので、シャワーを

使った。洗濯の乾きが悪い。

20:11、23.6°C, 910m。

6:00に起きる。出発準備。

6:30にお茶。朝食。7:00、23.4°C, 905m。

8:26、92366km。出発。Yelahanka方向に向かう。

8:31、ring roadを右折して、SSE, Madras方向、左手に鉄道、左折して渡る。Ring roadを抜ける。

8:49、左折して、ENEへ、旧道に出たようだ。朝の出勤や登校で混んでいる。左手に溜池があり、右手に水田。

左右に池、この15日間は雨が降った。以前にこのようなことはなかった。

2386km、8:58、on Route HW 4。給油。

ラギ畑少し。トウモロコシ、川を渡る。ブドウ畑。ニガウリのような、キュウリもあるようだ。不耕作畑が多い。

9:08、Kayote町。Koralに向う。両側にユーカリ。ブドウ畑、サトウキビ田というべきか。

ラギ、低地はイネ。トウモロコシは少しある。ラギは出穂中が多い。ユーカリが多い。

9:18、Gottipura、左手、NH 4。水が多く、水田がある。ラギは一部収穫中である。トウモロコシ、トウジンビエが少しある。

トウモロコシかなり出てくる。ウシは稀にいる。左に池、クワ畑も多くある。水田、ラギ。低地には水が多い。1ヶ月以内

にまいたタネもある。Paddy+ragi+*Pennisetum*

9:31、果樹園、Koralに向う。とてもきれいなレストランとガソリンスタンド。HWに造っている。

Hotelもある。

2417km、980m。お茶の時間。

10:11発。バナナ園少しある。低地に水が多い。ラギ畑に、トウモロコシ、*Pennisetum*, sorghumが少し混ざっている。

カラシナが開花中である。ラギの生育はとてもよい。ヤギ10頭、ウシ2頭。岩山の谷間に行く。軍用車が動いているが、積荷はない。トマトの畑。ホルスタイン1頭。ヤギ10頭、水牛2頭。

10:28、NH 4.

10:30、鉄道を渡り、Chittoorに向う。

10:39、バスと複数車の事故。水牛、ウシ、ヤギが多い。Rasamundara村。

10:41、クワが多い。Mango園。青い花畑はラベンダーか、（アマかな?）。水田が多い。まだ若い苗である。田植え後半月くらいかな。

10:52、水牛20頭、ウシ2頭。バラ畑5a。

10:56、谷間には水田が多い。水田+ラギ+sorghumは少し混ざる。

11:09、ヤギ50頭。ラギ、pigeon pea. マリーゴールド、トウモロコシ、イネ水田が多い。

01-10-8-1

2477km。サマイ畑。*S. glauca*が入っている。Mr. Krishnappa, Tatigul 村。

domest compact type と小さい weed type: **sana korulu** (小さい・アワの意)、農夫は若い物と認識して、両者を

区別していない。コラリはサーメと混ぜる。ラギと混ぜて、muddeを作る。

Brachiaria sp. weed は **akki hullu** (イネ・草の意)

Panicum sumatrense はsame: 最近ではサマイを作らなくなった。Muddeにして神に供えている。

サマイ畑はシコクビエの畑に隣接している。おおよそ、5aが2筆ある。

12:11発。Nangali町。休耕水田も多い。軍用車はMadras方向に向かっている。

水田、落花生の畑が多い。ヤギ50頭、サトウキビ。イネ水田はラギよりも多い。案山子が1体ある。

12:21、Palmanerまで17km。

12:26で右折して、横道に入る。サマイ畑が多い。すぐに水田とサトウキビが多くなる。落花生畑にトウモロコシが

少し混ざる。水田中にサマイの畑が3ヶ所、1aずつ。落花生畑が広がっている。

Jalallpalli, 1.5km左折する。

01-10-8-2

2506km、805m、12:46、Jalallpalli村に着く。

村内に入ったが、**サマイとコラリの混作畑**は道路沿いにあるとのことで、戻る。

とても大きく東西方向に長方形の混作畑があった。図あり。南北18m、東西130m。

Brachiaria sp. や *Digitaria* sp. の未出穂個体もあったが、シコクビエは全体でも1個体を見たのみであった。

w 道路、s/e 休耕地2方向、N cawpeaの畑に囲まれていた。

1平方mのコドラートを4つとって、個体数、被度、最高草丈を計った。各区は4等分して数えた。

same+korulu (コラリ) : 常に混作している。乾燥に対応することが主な理由である。分けては栽培しない。

両種の割合は降雨量によって変化するが、ほぼ安定した収量が得られる。多雨はsameが、少雨はkoruluが多くの割合になる。

栄養がよい。両種の種子はすべて混合したままで用いる。
ビスケットを作るのに買いに来る。PalmanerのBazarで売る。
upumaも作るが、とてもおいしい。

Panicum sumatrense : 黒い種子は nalla samelu (black/sameの意)。白い種子は tella / palu (white・sameの意) : 主にpaluを使用する。Majjige samelu (意味を聞きそびれた) とも言う。

***Brachiaria* sp. のweed** 特有の名称 : vo t lu kosavu (植物plantの意)

特別な利用法: アワ navane は神に供える。Large "korulu"。Jagryを混ぜて甘いめし kodalu 特別食品を作る。

2508km。 *S. glauca* のpure stand に近い畑が反対側の畑に見られた。Sameはほんの少し入っているのみ。

混合種子を播いたのかを確認すること。明日また来て調査を続行する。

15:59、SH 32幹線道路に戻る。Mango園。マメとトウジンビエの混作畑。

16:13、2524km、670m。AP州境。通行税を払う。2100Rs. とても高い。Trupatiへの交通量が多いからだという。

16:25、発。NH 4でChittoorに向う。休憩して、食事を取る。

17:19発。Chittoorまで42kmある。左に池、右に水田。Cawpeaの畑。多くは草地。

17:27、灌木林に行く。左、蓮池。サトウキビが多い。稀にラギと稲田もある。落花生、水稻。

岩山や岩が露出したところも多々ある。現在は水が豊富で、緑は濃い。

17:59、Chittoorの町に入るが、日は落ちて、暗くなっていた。

18:17、ゲストハウスは3室とも満室であったので、Hotel Sree Durgaにした。Naidubuil Dings, Chittor, AP

boysが若い異国の娘に対して騒々しいので、私のところに2名とも泊めることにした。蚊が多くよく寝られなかった。

夕食無しで、21:00までに標本整理を大まかに済ませた。さく葉標本もかなり収集できてよかった。Paspalumの畑は見られなかった。

21:16、320m。かなり暑い。

前夜は雨であったが、晴れている。

6:00起床。

7:50発。朝食を別の店で取る。熱心な店で、いろいろなitemsを作っている。

idly, vadai, semia, parota, dosai, biriyani chicken

8:32、2573km、300m。Duhdr川を渡る。走行は 60-70km/hr。

01-10-9-1

8:42、310m。右にモロコシ少し。同じ道NH 4をPalmanerに向う。サトウキビと稲田が多い。道路沿いに小さなモロコシ畑がある。Pegione peaと落花生の混作畑。低木のランタナが道路わきに多い。
稲田は美しく、タイヌビエは見えない。マンゴ園。右に山畑、ラギが少し。代掻きを手でしていた。ココヤシがある。
サトウキビが多い。
8:53。Palmanerまで42km。休耕地や草地も多い。ラギ、稲田。ココヤシとmangoの下は稲田になっている。
9:04、Palmanerまで14km。ココヤシとmangoが多い。Pigeon pea、稲田、サトウキビも多い。上り坂、読めない。アワあり。ランタナの藪が広い。谷間の窪地にイネ。サトウキビが少しある。
9:11、575m。低木林が続く。路肩にはユーカリ。ゾウのsancutuary、ecosystemの保存を言っている。
雑木林が終わる。Pottery 2ヶ所、主に飾り用の造形。
9:18、人里に出る。ガソリンを入れる。
9:20、Palmanerの町に入る。水田と池、美しい景色。サトウキビと稲田、ココヤシ。
9:35、すぐにNH 4を左折する。SH 32。落花生とモロコシの間作。ラギが少し、稲田が多い。クワも栽培されている。
9:44、水田、サトウキビが多い。ラギは少ない。マンゴ、ユーカリ林。
S. glauca*の優占する畑の調査：** 6年前はまざっているものをもらったが、栽培しているうちにコラリだけになってしまった。利用法は同じ。S. glauca* = chinna sameとも呼ぶ。Samelu、サムローと呼んでいるようにも聞こえる。**
1. 脱穀して、風選する。2. 熱湯で1時間、パーボイルする。粃が開く。3. 干す。4. 粃摺りをする。
混合穀粒と同じで、3種類の食品を作る。Upuma, annamu, mudda。
近隣にもう一ヶ所、*S. glauca*とsameも混作畑があるという。
雨が少なかったので、*S. glauca*が先に発芽して、*P. sumatrense*は発芽が遅れて、*S. glauca*のpure standに見えた。
Panicum sp. は開花中で未熟種子は取れない。
riceはパーボイルしていない。
2637km、690m、12:15。*S. glauca*のコドラート調査終了。
12:20右折、SH 32から地方道に入る。サトウキビ、稲田、落花生が多い。移植後のイネが多い。
12:33、NH 4を北上する。落花生、pigeon pea、モロコシが栽培されている。
12:38、村内、ラギが少しある。左は池、右は稲田であり、ここにラギ田が混ざる。
2661km、12:45。農夫 Nadupanna Srirampapa, Gangamma. Dombarpally 村、P0? Apganpally.

01-10-9-2

01-10-9-3-a/b

両側に10aのsame畑が2筆。 *S. glauca*が多くはなく、目に付く程度で混ざるが、草だといっている。

丘を下るとイネ水田、サトウキビ、左手にはラギ畑。収穫した牛車が通る。ラギの穂のみを積んでいる。

Rajupali, 未出穂のモロコシが多い、ラギは少しある。

*自動車はTATAのSUMO、運転手はspeedの出しすぎで、追越をするので、かなり危険である。早くて畑が見え

にくかった。目的地に早く着くのはありがたい。しかし、同行のお二人は地図が十分に読めず、土地勘がない。

13:21、クワ畑が多い。黄色の菊の畑。ラギの畑、sameの畑が多くなる。トウジンビエはごく少ない。

出穂中のモロコシは少ない。左はpool, 右は水田。

2676km、13:38-14:25 町に入り、昼食をとる。稲田、サトウキビ、ユーカリ林。

SH 32を北上する。

2681km、14:43。アワを探しに来たが、なかった。ラギ8列に、**トウジンビエbajera** 1列の間作。同じ道に戻り、

南に下る。ヤギが多い。

14:49、町に入る。SH32上でラギ干し。稲田中に、ヒエ属が少しある。ラギ畑。

2702km、710m、15:31。2筆、3aと4a。サマイPs。 コラリD;Sg。 コルネW+D; Br。近くにラギ畑ある。

16:03発、Palmanerまで15kmもどる。NH 4に向い、途中で左折し、間道を行く。

16:10、稲田が多い。右にスイレンの池。

16:17、大岩がごろごろしている。小さな町を通過して、Shodopaliに向う。バスやトラックが時々通る。

落花生がとても多い。稲田やサトウキビが多い。右手に岩山。

落花生、トウジンビエ、サトウキビ、イネ。

16:37、左折、Madanpaliに30km。右手にアワがあったらしい。

16:42、道を間違えて、反転する。図あり。

16:51、再び反転して、Mulbagal、SW方向に向かう。右手にアワらしき物、2個体。

ラギ、クワ、サトウキビ。

17:07、Madnnapaliまで21km。左に溜池、水田が多い。落花生も多い。

17:17、大き目の町に入り、人出が多い。昼食をとったところに戻った。ゲストハウスが見つからず、お茶にする。

17:45、右にモロコシが開花、出穂中。右手に沈む夕陽がまぶしい。

01-10-10

左手にsame畑が3ヶ所あった。ラギ田畑、右に稲田。数mの高低差でどちらを栽培するかが決まるようだ。

菊の畑があったので、昼通ったところと同じであろう。

17:54、そろそろ陽は沈む。クワが多い、落花生。家畜が家路を急いでいる。イネ、サトウキビ。

右にsame畑、草地が多い。

18:04、右の丘の上にsameの畑。Mangoの小木。そろそろ収穫を迎える水田。暗くなったので、家々が点灯する。

18:19、稲田、クワ、落花生、bajera。

18:22、大きな道に出て、右折、NH 4のbypassでKolarまで戻った。

19:00、Woody'sに泊まる。

20:00-21:00、夕食。

21:00-23:00、種子、標本の整理。新聞が不足したので、01-10-9-3bは明日処理することにした。

水曜日、曇り、

5:50に起きて、荷物整理。

6:40、25.6℃, 810m。小雨は7:00過ぎにあがる。

8:00、朝食。

8:40発、2819km、Chittor方向に戻る。モロコシ、トマト、クワの畑が多い。ユーカリの苗圃は植林する。

ラギとトウジンビエの間作。

8:51、ラギ、イネ。田植えすみも、今が収穫期のところもある。

Murbagalまで10km、ラギが点在している。

8:55、ラギは丘と稲田に隣接して栽培されている。右手にラギがとて多い。左手は稲田。地図あり。

9:02、町内に入らずに、右手方向で、NH4に向かう。ラギが多く、トウモロコシは少ない。陽が出る。

9:06、Chennai方向に向かう。ラギ8列+トウジンビエ1列の間作。町内通過を避けて、Bypass合流し、gateがある。

9:11、ラギ、稲田、池。ラギ穂の脱穀中。老農に聞く。コドラhaluka。

9:15、反転して戻る。Same畑に少し*S. glauca*が混合している。隣は水田。もう一度反転して、NH 4をChittor方向に行く。

農家に聞いたが、このあたりではコドラは作っていない。もっと乾燥したところだという。NH 4沿いには水が多いので、

稲田、ラギ、丘のところはsameの栽培となっている。

右にsame畑、5a。クワが多い、丘はラギ。

9:36、2860km、Nangaliの町で、肥料屋に聞く。

9:57、Palmanerまで27km。

01-10-10-1

10:01、右折して、村道に入る。Same、ラギが多い。トマトや落花生は換金作物。
ラギは広く栽培されている。Sameには*S. glauca*が混入している。Jarapali村。
村は町から約6km、幹線道路から直角に入る。バスも来ている。
コドラについて聞く。本年は雨が遅かったので、コドラは播かなかった。Sameを播いた。
(多年生植物で、生長に日数を要するからであろうか)
① 家畜の堆肥を、播種前にのみ、施肥する。② 4月の3,4週に播種し、コドラは密に生えるので、
除草はしない。
③ 株刈りで9-10月に収穫する。コドラは雑草を区別しないで、皆混ぜて収穫してしまう。
④ 乾燥は道路上で、2-3日行なう。雨が降る前に、結束して、脱穀場に運ぶ。
⑤ コドラはすぐに、stone roller かトラクターで脱穀する。
コドラalkaが1個体生育していたが、これはニワトリに与えた種子が発芽したものだという。ここではharakalu と呼ぶ。
雨が少なく、5-6月に他の草がないときは、コドラをウシに食べさせる。それでも、分枝が出て、収穫することが
できるので、とても都合のよい作物であるという。
⑥ 貯蔵は、少量の場合は土製のポットに、大量の場合は竹で編んだ貯蔵容器の内外に牛糞を塗って、
滑らかにして
使用する。4-5年は貯蔵が可能という。
⑦ コドラからは、dosa, roti, mudda, ganji, annaを作る。Dosaのみ、イネ粉と混ぜるとおいしいので、
混合して
調理するが、他の食品については混合しないで作る。
モロコシ jonna: 7列の落花生 karakai (Kannada語) に1列の割合で間作する。Pigeon pea も混ざる。
ragi, sameの畑には、落花生、niger seed、モロコシが間作されている。
11:30、2-3kmほど戻り、NH 4にでる。15-20km/hr。
11:45にNH 4に出て、左折する。
2874km、715m、町に戻る。Bangaloreまで、102km。ラギよりもイネが多く栽培されている。
11:59、Madugaliに入る。30km先の村に行くか?Madugaliの本町を右折する。
12:06、右折、すぐ左折して、Srinivasapurに向う。
左に稲田、右に岩山。ラギとイネが多い。右にsameが10a、ラギが多い。左手はイネがとても多い。
12:11、左にsame、しかしラギのほうが多い。少し意識を失う。
12:26、2906km、790m。トンボが多く飛んでいる。
Laxmi Sagara 村、TQ, Srinivasapura; dist, Kolar, Manjunathさん農夫。795m。
20年前にはnavane アワを栽培していたが、今はragi (改良品種No. 28) とsameを栽培している。
a畑はラギの収穫中、b畑はsameが生育開花中、つるマメ、雑草各種が生育している。

01-10-10-2a/b

sameはお祭りのときに、burugu にして神に供する。Burugu (puffed rice) はKannada語で、puriのことだという。

直径8cmくらいの円形扁平でjagaryを入れて甘くする。

2906km、13:10。ユーカリの植林地が続く。後8kmで、町に至る。マンゴ園、タマリンド、ラギの畑。ハヤトウリらしい。

13:22、ヤシ園の下にはラギの畑。

13:28、Shapvapuriに着き、一般家庭のような店で昼食をとる。学生が一月契約で、食事をしている。

14:11、Bangaloreに向う。クワ、養蚕が多い。モロコシが少しある。草地となる。低いユーカリの林。ラギの畑。

稀にトマト、モロコシの畑30a。Mango園にラギが栽培されている。

14:33、左折する。薪売るか。クワ、ラギ、稲田が少し。曇ってきている。

14:56、右折した。ラギとトウモロコシの畑。

2860km、ガソリンを入れる。雨が降り出したが、すぐに通り過ぎた。ラギの間作が続く。

15:21、Viyadafodaの町。左折する。NH 7に出て、さらに左折する。国際空港は警備が厳重で、兵隊が監視していた。

Devanahalliに出た。右に鉄道。

15:36、Bangaloreに36km。Yelahanka 17km。

左にラギ畑。右にトウモロコシ。片側3斜線の道路に出る。Bangalore 39km、Yelahanka 14km。

右に、ラギ畑と鉄道。

15:46、鉄道を渡り、一車線になる。

16:20、3017km。ゲストハウスに着く。果物を買いにいったから、標本の整理をする。

20:30、夕食。22:00寝る。石川さんは標本の計測をする。

9:03、23.8C、晴れ、855m。

7:00、お茶と朝食。

8:30、標本干し。

9:00、Orissa調査のルートを検討する。

13:00に昼食に行き、Hebbal Campus を見る。

本部棟はAgriculture Museumになっていた。見本園はLive Museum。午後は標本乾燥と土落としに過ごした。

19:00にMurtyさんが石川さんあての手紙を持って来た。この件は省略。Murtyさんは、家族もみな元気で、当人も

大学の通信課程を終えた。シタラム一家と北インドへ20日ほどの旅行に同行した。妹に子どもが生まれた。近く、

公務員になるつもりなどの話を聞いた。自転車は2回タイヤを取り替えたが、健在らしい。寮を出て、家族がアメリカに

行った家で、老人と暮らしているらしい。

20:00、夕食後、リスト作り。

01-10-12 7:14、24. 2C、865m。今は小雨になっているが、夜半には大降りで、雷があり、現在はまだ停電中である。

6:30に起きて、7:00にお茶。8:30、朝食、masara dosa。

9:20、外出する。Windsor Minor予約、27-29日2泊する。カルナタカ州立博物館、Gangalum Books、Shangliraで昼食、Nirgil'sで電気ポットを買う。

とても良いが3足でコンセントに入らず、使えない。変換アダプターを探したがもってきていない。

15:30、ゲストハウスに帰る。電気が来る。石川さん申請論文の整理。標本リストを作る。

01-10-13 20:30、夕食。アンケート用紙の作成。22:30に寝る。

7:33、23. 7C、875m。朝まで雨、午前中は曇り、午後晴れる。

6:00、洗濯、沐浴。6:40、お茶。8:30、朝食、ノートの整理。

10:30、GKVKに向う。Orissaの打ち合わせ。省略。

15:00、ゲストハウスに戻り、標本干し。

17:00、Murtyさんが来る。明日19:00にシタラムさん宅を訪問する。家への道順を聞いたがよくわからない。彼が16:00

に来て連れて行ってくれるという。Taxiをチャーターできないか。電話は通じなかった。

01-10-14 20:30、しばし雑談をしてから寝る。

6:00、沐浴、茶。

6:37、23. 7C、895m。早朝から、かなり降ってきた。

7:20、ジャガディシュさん来訪。申請書の修正。

12:30、copyと電話。Taxiの予約に行く。日本からの話によると、第1次攻撃は終わる。たんそ菌athrexがfbiなどに

送られた。さらにh jするというらしい。

12:00、標本干し、1030aに晴れてきた。

15:00少し前にtaxiが来たが、場所の確認だという。

16:05、MG. Roadに向う。バービーを買う。コーヒーを飲む。

18:00、シタラムさん宅に行く。

20:30、辞去。

21:25、ゲストハウスに戻る。

01-10-15 6:40、起きてお茶、荷物整理などをする。資料整理、論文のチェック。

7:13a、23. 4C、895m。曇りのようだ。10:00過ぎに陽が出てきた。

9:00、朝食、標本干し。

01-10-16

11:00、管理人が来て、予約日が違っているという。22-26日まで再予約する。Deposit分は支払わなくてよいという。

12:00、論文の推敲、1回目。PakingもほぼOK。いよいよOrissaへの再訪である。

***S. glauca*の良い畑にめぐり合うことを願う。希望は：**

1. Kodoの畑に*S. glauca*が混入しているところ。混作畑。

2. 他に、rice -weed; same — *S. glauca* and *Brachiaria ramosa*; ragi — *S. glauca*

3. 2-3ヶ所でコドラートを取る。

14:45に車が来る。

16:20に空港に行く。シタラムさんとジャガディシュさんが来る。

17:20、Hyderabadに向う。

18:25、空港からホテルに向う。Dwaraka Palace

20:30に寝ようとしたが、うるさくて寝られない。2:00まで、人の声と車の騒音。

4:30、起きる。

5:40、車が来て、6:30、チェックイン。

7:45、CD7561で Vizagに向う。

9:00、にシタラムさんに電話。海岸を見た。

10:30、朝食。

Kalilasa Hillを左に見て、上り坂である。

11:04、右に海。パルミラヤシが多い。

11:22a、Isnkalinua? 不明を右に行く。海岸に出る。水田が出てくる。

11:39、水田が多い。パルミラヤシ。

11:45、右折して、本道に出て、すぐに橋を渡る。裸地の丘がある。広い水田地帯で、スイギユウが多い。

12:04、Visiyanagaram、パルミラヤシが多い。左に、鉄道、

12:08、Vizyanagramの市街に向かう。Agr. Res. Stationでラギの畑を見る。

13:24、Salurに向う。川を渡る。

13:39、鉄道を渡る。パルミラヤシの林。草地の山に向う。13:40、29.6C, 晴れ、155m。

繊維用hibiscusが多い。左に池、右に水田。農家を通り過ぎる、水田が多い。

13:56、川を渡る。

14:02、Sarulまで、30km。Hibiscusの畑が多い。Mango園。水田地帯である。

14:04、30.9C, 135m。水田が多い。鉄道の踏み切りで、列車を待つ。

イネ、hibiscus、が多い。雨は降らないが、曇っている。

14:29、パルミラヤシが多い。左手、家の屋根にパルミラヤシを用いる。ナスの畑。

14:31、205m。31.3C。ワタの畑。左側はサトウキビの畑。バナナ園や、ココヤシ園がある。

14:39、川を渡り、Salurに入る。水牛が10頭いる。Orissaの州境である。

14:45、Koraput に向う。稲田が続く。前方に丘が迫る。美しい緑の中を行く。ワタの畑か?山地帯にかかる。上り坂。

14:55、15:09、30.9C, 510m. 左手に稲田地帯を見下ろす。雑穀が出てくる。山畑が多い。焼畑もやっているのか?

NH 43, Koraput dist, Orissaに入る。

15:09、sameにアワが混作、おおくの畑で。

15:25、Koraput まで、65km、左にラギ畑、オカボやアワがある。霧が山峰を覆う。Niger seedの畑。水田も少しある。

ラギ畑、人家にトウモロコシが少しある。コドラらしき畑がある。ラギが多い。

15:43、小雨になる。美しい棚田である。ラギ、

15:48、28.5, 1045m. Niger seedが多い。ラギ畑の中に、ムギケイトウが多い。ラギ、サマイ、

15:53、Koraputまで50km。低地に下る。ラギ+オカボがとても多い。この中に、大きなムラサキの穂のサマイが

少し混ざる。*Sorghum halepense* がよく混ざっている。ラギの畑が多い。いくらか低くて水があるところはイネで、

高いところはラギである。

niger seedの畑が多い。開花が始まっている。Same+ragi、ウコン畑、案山子があつた。ユーカリの林が少々点在している。

16:29、Semidigudaに着く。草地が多い。Orissa Univ. Agr. TecのStationに行き、その後、ゲストハウスに行く。

近隣町内で、何らかの理由による自殺者があり、大騒ぎとなり、住民が道路を封鎖して警察も居た。このために車で夕食に行くことができなかった。Stationの所長は1987年に来たこと、

acknowledgementに名前が

あつたことを覚えていた。とても危険と判断したので、夕食をとらずに、ゲストハウスに戻るように言った。

所長の厚意で、近所のホテルから夕食を運んでもらった。明日の朝食は所長Dr. S. Rash宅でいただく。

明日の日程について打ち合わせ、一人が2日間付き合ってくださいることになった。その後は次のStationの人に依頼する。

4泊して、5泊目はVizag. に夕方には着く必要がある。ルートは別に記す。

6:00に起きて出発準備。717a、28.4C, 875m, 晴れそうだ。

Dr. Rath宅で朝食。娘さん20歳あり。

8:56発。一名同行してもらおう。小雨が降ってきた。Salur方向に戻る。前回の調査地を見る。

赤紫の穂で、草丈が高い、サマイが多い。

9:27、一人乗る。

- 01-10-17-1 Kundli 村再訪、855m。Samai,ragiの混合畑。サマイは紫の穂が多く、緑の穂は少ない。ラギは開いた穂と曲がった穂と両方がある。雑草はメヒシバ、*Panicum* sp.、*Celosia*などがある。サマイの穂は熟しつつある。
*S. glauca*は長い穂だが、畑中にはごく少し入っているに過ぎなかった。本年は雨が多く、*S. glauca*の生育もよいが、
他の2作物もとても良好で、ラギは今開花中である。ラギの畑で、目測で、コドラート測定をした。
- 01-10-17-2 860m。オカボ畑。コドラが少し混ざっている。
道路の反対側、種子も標本も採らない。丘の上の雑穀畑には、播種と収穫のためにのみ2回行く。
koddo、kukulangdi (*S. glauca*) はriceに混ぜて、**めしbhatto** (boiled rice) にして食べる。
農夫の認識では両種ともweedで、イネと一緒に種をまくことはない、勝手に生えてくるということである。
weedコドラはイネに混ぜて、アンナがuppituにする。*S. glauca*も同じである。
10:58、コドラの種がイネに混ざっていて、生えてきた。混ざったまま一緒に食べる。引き返して先に進む。
11:07、車に空気を入れる。Semidigmaを通過する。また晴れてくる。
11:19、左に池、右の橋を渡る。サマイとラギの混作畑が多い。窪地や池の周辺には稲田が多い。
Sunabedaの町、11:41、Koraputに入る。前方に、川あり。稲田、ラギとサマイ混作畑。焼畑の煙が上がっていた。
山を下る。谷間の低地、稲田がある。
12:03-13:18、615m。草地が多い。村落を通過する。Jeypore Hotelで昼食、中華料理。
13:42、20km戻って焼畑を見に行く。小谷を越えて見に行く。谷間には稲田がある。
Bogaipadar 村 near Jeypore. Nindi Paiko 農夫さん。885m。
コスモス、クズ、*Deoscorea* sp, *Bidens* sp. ルコウソウ、*Ageratum* sp. などがあつた。
炭を伏せ焼きで作っていた。土質は硬い。直径60cm、深さ40cmの穴を掘り、この中、上に木を積み、上に火をつけて、
葉を載せて焼く。この方法は複数の人がやっていて、できた炭は売るそうだ。
ラギは **mandia**、アワは **kangu**、サマイは **nalisuan**。畑にはラギ、サマイ、少しのアワが混ざっていた。
14:44、Jeypurに向う。熱帯林を抜ける。右には蓮の池。町を抜けると、水田地帯で、祭りの準備をしていた。
15:31、630m、広大な水田地帯。
- 01-10-17-3

15:36、Bodigmaを通過する。*Oryza rufipogon*、水田中に少しあった、赤い芒である。
カシューナッツ園、低いところは水田地帯、ラギ畑がまた少しある。

01-10-17-4 16:23、4737km、594m。水田中の*Paspalum* sp. weed。水田畦畔の*S. glauca* weed。
*S. glauca*は水田中には入らない。オカボの中に入るのか？
16:26、稲田が続く。時々、ユーカリ林とカシューナッツ園。草地、mango園。水田が多い。
数mから10mの丘は草地になる。
16:41、Navarra?を通過する。一部で稲刈りをしている。
水田中の個体差は大きい。水田を背景にした、赤黄色のサリーは鮮やかである。
16:49、Nabangdurに着く。所々に大きなgatesを造っている。
16:56、Katiguda まで35km。17:10に300mほどわき道に入り、すぐに引き返す。

01-10-17-5 17:24発。4760km、610m。Patramunda 村。
ラギの畑にサマイが混ざる。
Nabarangapurに戻る。Hotel Turptiに泊まる。

01-10-18 5:30、起きる。祭りの準備で騒々しい。薄曇である。
7:50発、4760km、555m。Bhawanipatnaに向う。
昨日の最終採集地を通過する。熟した稲田が続く。Redwoodの植林地。稲田の中に、2筆niger seed
の畑がある。
NH 201, 小川を渡る。道路の補修中。草地に変わる。
8:09、45m/hrで走行。ラギとniger seedの畑。モロコシは未出穂である。
稲田より数m高いと畑地になる。植林地、小さな村、Papadahandi町、右折する。
8:17、Bhawanipatna方向に向かう。どこも祭りの準備中である。稲田地帯が続くが、丘はラギであ
る。NH 201。
草地、ヤギがとても多い。ラギ中にサマイが少しある。オクラの仲間が畑中にあった。稲田が続く。
8:43、小さな村を通過する。稲田。風は心地よい。紫穂のイネがあった。
8:56、林の中に行く。長い植林地である。
9:18、4817km。小さな町に至る。また稲田が続くことになった。40km/hrで走行している。
pigeon peaが少しあった。桑畑はすくない。
4824km、サトイモが水田の畦にごく少しあった。道がよくなってきたので、53km/hrに速度が上がっ
た。
牛が多い。
4833km、9:40、Kokusaraの町。稲刈りをしている。稲田にはヒエ属が少し混ざっている。マメの畑も
少しある。
9:55、稲田。
10:07、4846km。村内の路傍に、*Eleusine indica*、ここは水田ばかり。ヤシはほとんどない。ヒマ
が少しある。

Chalahar町。 *Paspalum* sp. weedが稲田の畦に多い。人家にはコンパクトな穂のモロコシが植えられていた。

01-10-18-1 4855km、Bhawanipatnaまで、40km。若いパルミラヤシが多い。水田が減ってきた。
11:01、川を渡る。Jotugath町。彼はバスで帰っていった。次のバスは夜しかないという。
12:12、4874km、240m。水溜りに野生イネ。水田内に *Paspalum* sp. が少し生えている。
わき道に入るがすぐに戻る。

01-10-18-2 12:06、200mくらい中に入る。Mariabandi 村、Kalandi dist.
小さな村に入って、ラギをJGさんが探している。 **Mandia**ラギとサマイをもらった。
wild riceは食べるが、wild *Paspalum* sp. は食べないという。
上り坂になる。稲田と草地がある。雑木林となる。竹の藪もある。その後はまた、稲田ばかりになる。
川を渡る。
12:35、4886km。丘でも少ない。稲田が多い。延々と続く。
12:55、稲田と草地。
4899km、Bhawanipatnaに着く。Officeを探す。
13:28、52%は畑地であるという。Tribal area で 6-9月にminor milletを栽培する。
Echinochloa と *Paspalum* を
1000-2000ha作付けしている。15:30にもう一度来る。
Astigoda 村、Madangi、Kodorgura(-pura)、幹線道路で30km。
Ass. Directorの話。一名農業改良普及員59歳がついてくる。
Kodo No.3 (kangu のことか不明)
kosora No.1、long dulation はある。 *Echinochloa flumentacea*、
grusi? (cruji) No.2 *Panicum sumatrense*: 無施肥で6月に播種する。Millet flyの害がある。
ワタや換金作物が増えて、milletが減少している。9-10月は収穫期である。雑穀収穫の後に、niger seedを播く。
*S. glauca*は混合してはいないという。Kodoはsingle cropである。
15:29、Agr. Res. StationからHill area、tribal areaに向う。縄がなわれている。稲田が多い、285m。
15:56、4913km、稲田の間に、畑が出てくる。 *Celocia*が多い。町から40kmか、山中に入る。
16:13、竹の変異が大きい。人通りはまったくない。
16:21、橋を渡る。やっと2名と出会う。森の中に小水田がある。左に沢がある。
バイク1台とすれ違う。警察の自転車2台来る。一人が草刈をしている。
4942km、あと2kmだという。左手に畑が出てくる。
4943km、水田がある。家畜の大集団が来る。ウシ60+80頭、ヤギ20+40頭。右折してすぐに集落があった。

- SH (州道) の奥まった村、男女、子ども50名ほど。何族かは不明。
- 01-10-18-3 Purunaguma 村、Sri Ramasingh Majhi さん。
村人に話を聞いて、種子を分けてもらう。Kodo収穫後に、Niger seedやmustardを播くという。
本年は雨が多く、早く播いて9月末か10月初旬に収穫したというが、kodoは多年生で、生長が遅く、まだ畑にある
のではないかと思われ、諦めるべきではない。
シコクビエ **mandia**。 サマイ **kusuda**。 アワ **kangu**。 種子と精白粒をもらう。これらはめしにして食べる。Kodoは
なかった。
- 01-10-18-4 アワ畑があるらしく、山腹から穂を1本抜いてきてくれた。
17:49、640m。少し戻った家の畑。サマイ畑。夕方でもう詳細は見えない。この人家は男2、女1と子供が住んで
いるようだ。世話役の中年男性が、車を追いかけてきてくれた。
この道はSH, あまり痛んでいないので、交通量は少ない。政治的に奥山に向けて造られた道路なのだろう。
よい森を伐採するためでないのなら、tribal areaに対する配慮によるものか。
闇夜の森を抜けて戻る。4990km。?
19:02、Bhawanapatonaのhotelに着く。比較的良好なホテルである。昼と同じところで高いとDr. JGがクレーム。
- 01-10-19 5:40、起きる。荷物やノートの整理。朝食を部屋で取る。7:00, 30.3C, 240m。
8:23、発。4986km。すぐにディーゼルを入れる。SH 6、Rayagadaまで 129km。ウシ20頭。
水田が続く。稲刈り、イネの香りが懐かしい。Bhawanipatonaを出る。
8:56、林の中に行く。長い植林地である。水田が続く。左右に岩山がある。粃を袋詰めしていた。
- 01-10-19-1 pigeon peaの畑。これを畦マメにしている。*Coix gigantea*らしきもの水田中に少しある。
9:12、4999km、225m。*C. gigantea*の標本をとる。
ワタの畑が多い。山側はオカボ畑。
5001km、Repurまで1km。左に池、ボートが3艘。小さい村を通過する。Chartigudaまで4km。Niger seed少しある。
水田が多い。ゆるい上り坂、草地に出る。*Alocasia* sp. 少しある。Pigeon peaは少しある。ワタ畑、クワ畑がある。
*Oryza sativa*の変異が大きい。
9:31、右折する。広いワタ畑、水田あり。*C. gigantea*が多い。*Acasia*が多くなる。小さな村を通過する。
ワタ畑。ユーカリの苗圃がある。

01-10-19-2

9:44、340m、低山林中に入る。畑はない。バスやトラックが通る。また、草地に入る。水田地帯に戻る。

稲田、ワタ畑、山間地を交互に通過していく。

10:11、5029km。稲田にラギ田畑が出てくる。二分岐路を右に行く。低地は稲田、山側は畑地、niger seed。

ワタ畑。サマイをもらったようだ。右にラギ畑が少しある。

10:30、5034km。中くらいの村に入る。Agr. Officeを訪ねる。2名が乗車する。Kodoあるらしい。

10:40、来た道に戻って、村に向う。図あり。

OD Rrout?。77%がtribalで、彼らがmilletをつくっている。

5039kmで右折し、村道に入る。ワタが多い。モロコシに*S. halepense*が混ざる。

11:39、34.6, 380m。West Pokkarbl?質問表に正確にある。

サマイ畑に*S. glauca*の白い穂がごく稀に、少し混ざっている。開花中だが、**食べないという、ghas。**

畦には*S. glauca*の赤い穂が生育。脱粒性が著しい。

オカボ畑：栽培*Paspalum*、栽培*Echinochloa*、雑草のJangle riceも一緒に生えている。

S. glauca はweed で小さい穂があり、よく脱粒する。

kodo：local variety と 収量のよい改良品種とがある。Weedのほうがdomestより、粒が大きい。イネとはgrainの

色や大きさにで区別する。平らなところで、石のローラーで脱穀する。貯蔵は竹のコンテナに入れる。

weedと domest を区別することはできない。除草はしない。間作もしない。

めしkodo anna にする。

13:00、5040km。道に戻り、2名を降ろして、幹線道路に戻る。

13:21、5046km、右折。谷間は稲田、ほかは草地である。

キッチンガーデンには、コンニャク、大型の*Deoscorea* sp. があつた。牛たちが休んでいる。

稲田が多く、ラギとniger seedの混作が少しある。

5049km、右折、小さい村からAnbadalaに向う。左に鉄道を見る。

14:08、発。昼食をとった。SH 6, Ambadal。ブタ3頭。稲田が多い。地図ある。

14:16、5054km、Rayagudaまで 83km。川を渡るが、水は濁っている。

14:18、稲田がほとんどで、ワタやniger seedが時々ある。ラギ畑、山に入り畑が出てくる。

14:23、SH 6。 *Celosia* がとても多い。広いniger seedの畑、右にサマイの畑がある。

5061km、ラギ、サマイ。左右にラギが多く、ワタがときどきある。

ラギの中にサマイが少し混ざっている。水田が多く、ワタ畑もある。

14:49、水溜り、稲田ばかりが続く。

鉄道を渡るが、変わらず、水田地帯を行く。

5078km、鉄道を渡る。Rayagudaに向う。ブタがいる。草地。

ユニークな案山子が各種ある。Niger seedが多い。

01-10-19-3	5082km、15:06、鉄道を渡る。 5083km、SH 5。Rayagudaに55km。稲田。ウシ大小30頭いた。モロコシの畑。山腹の畑はサマイか？ 5089km、15:42発、375m。Rayagudaまで50km。サマイ畑。Bisham-cuttk 村。 目分量で、コドラートを取る。図あり。<i>S. glauca</i>は白と赤の剛毛が混ざっている。 道路の反対側のサマイ畑は生育がよい。紫の穂は草丈1.5m、緑の穂は登熟中。隣の畑はまだ開花中である。 ウシ100頭以上いる。水田地帯になる。丘には一部ラギ畑。山に入ると、ワタとラギの畑。 5104km、16:06。複線鉄道を渡る。丘の中を行く。広いサマイの畑がある。Niger seedの栽培されている。 サマイの収穫は悪くないのか？ ワタ、サマイ畑。低地に下る。広大なサマイ畑。よい匂いがしたが、何だろうか？ ラギとniger seed、pigeon pea、またラギ。サマイがとても多い。 5116km、16:24。SH 5, Rayagudaまで25km。谷間には水田がとても多い。モロコシが5a栽培。 ラギとサマイの混作、ワタ畑が多いサマイも多いが、次第に稲田が多くなる。町を通り過ぎる。
01-10-20	16:52、Rayaguda市街に入る。Dist. Agr. Officeを訪問して、協力を依頼する。明朝8時に迎えに来るという。 17:00、ホテルに入り、ここで2泊する予定。 20:15、夕食。前後して標本作りを行なう。23:30に寝る。 6:00に起きる。標本と荷物の整理。6:55、29.0C, 185m。 8:16発。5144km。Dist. Agr. Office。Hornを修理して、Hill region、すなわちtribal area に向う。 milletの収量は7-8クンター／ha で良くはない。ラギ粉の使用。 竹製コンテナ、図あり、直径3-4m、高さ2m。イネの粃を入れている。 両側ともに水田、昨日の道に戻って、北に向っている。チューイング用のタバコを少し作っている。 5156km、8:48。二又路を右折、東に向う。左は昨日来た道である。町を出ると水田が多い。ワタ畑。 8:53、5160km。Kornala を右折して、SSEに向う。水田。 丘は草地、窪んだ所には稲田、移植するラギ。ワタ、pigeon peaの畑がある。 サマイ (kosula) はここでは ghantia と呼ばれている。ラギはmandia である。サマイ畑は広い。
01-10-20-1	9:28、5162km、220m。Nadanpur 村, Kolanara Block. Tadingi (部族名) Kunda族。 農夫名: Sri Tadingi Lachnana-Ragi + Ganthia. Tadingi Pulginys-Khosala サマイ畑中に<i>Brachiaria</i> sp. <i>Setaria</i> sp. はない。ラギ畑中にも<i>Brachiaria</i> sp. はない。 <i>Brachiaria</i> sp. のweed はghas で、ウシの餌にし、人が食べることはない。サマイに擬態。 small milletは播いて収穫するだけで、特に農作業はない。除草もしない。踊りをして、祝って、収穫をする。

- wineを飲む、すなわち、酒を造っているということである。
谷間には水田が多い。ワタ。モロコシ。狭い谷間に行く。ヤギと牛が50頭。
ラギとサマイの混作畑。稲田。Niger seed。サマイがとても多い。
ラギとサマイの混作畑、ゴマの畑3a、稲田、pigeon pea。
- 01-10-20-2 9:59、345m。Jenglu に9km。サマイ畑に*Echinochloa* sp. weed がはいっている。
ラギ畑には*Brachiaria* sp. などが入っている。ラギの乾燥中の種をもらう。
5178km。深い谷間を Jangiliに向う。
- 01-10-20-3 10:27発、5179km、425m。*Pennisetum americanum* の穂をもらい、標本にする。
タマリンドの若い実はすっぱい。チャツネに用いる。フィルムリスト省略。
10:39、5182km、Jangili村。Niger seedの畑。
Pikoguda 村はすぐ隣。ラギの畑の中に、*S. halepense*がある。
トウジンビエが多い。
- 01-10-20-4 11:06、5187km、左折してわき道に入る。Niger seed, サマイの畑。
11:14、495m。Mirabali 村。Shifting cultivation 3年で行なっている？
ラギ、トウモロコシ、イネ、**アワkangu、サマイkusula** はguluelとjau (slowly) にする。
ラギ mandia : roti と jau を粉から作る。酒にはしない。腹もちがイネよりよい。
ragfi jau : ラギ粉にGurと塩を加えて作る。Slurry type。
rori : ラギ粉にGurを加えて作る。Gurとはお湯 guranpani のことか？
saluf tree plant から juice を作る。mafulo plant からwine を造る。
コドは見つからない。
12:07発、5189km。元の下りの道に戻る。
5192km、Rayagudaまで36km。
12:15、下る。シコクビエ(ラギ)干しをしていた。Kodora monji はコドの種の意。
13:01、5211km。右折する。稲田が多い。
13:00、5222km。町に戻る。1名降りる。ホテルで昼食をとる。
14:52、5233km、220m。Jeypur方向に向かう。Dist. Officeの人はいけない。左に川、SH 4。PoaKona
まで35km。
ラギ。
15:24、5245km。Koraputまで 100km。ラギが多い。Niger seed。Tribal areaの山林中を走行して
いる。
畑は見えない。
- 01-10-20-5 15:44、niger seed。サマイは多い。
16:03、5273km、690m。ラギとサマイの畑に*S. glauca*が混ざっている。多くはないが点在している。
多くは赤い長い穂で、種子は密生している。
Rayagudaまで20km、ホテルに戻る。
20:00、夕食後、標本の整理。

01-10-21

6:00、起きて荷物整理、朝食。7:07a、31.2C、200m。
8:49発、5313km、Vishakapatnam方向に向かう。
9:02、鉄道の立派な鉄橋を渡る。大きな川である。Kedaruまで22km。右に鉄道と丘陵。Pigeon pea少ない。
marigoldの庭がある。右にラギと稲田。左は水田とpigeon pea。ワタ、ほとんどが稲田の地域である。
モロコシが少し、*S. halepense*かもしれない。
pigeon peaが多い。小川を渡る。
9:15、林に中を走る。ラギ、サマイ。ゴマの畑がある。また、サマイとpigeon peaである。
9:25、5333km、Kedaruに10km。水田地帯。この畦にweed *S. glauca*が多い。Niger seed。 *Succulum officinale*は
水田の畦にある。ユーカリの若木がある。Pigeon peaの畑の中に、*S. halepense*が多い。ほとんどが水田。
9:40、ヤシが多くなる。Kedra, APとOrissaの州境。左に大きい川、水田。2車線、中央ラインつきのよい道になる。
ワタが多く、サトウキビとゴマが少しある。バナナ園。パルミラヤシが点在する。ワタが多い。
ジュートの繊維取りをやっていた。鉄道で列車待ちになる。
10:12、5361km、右折して山中に向うが、水田、バナナ、ジュートの刈り取り。パルミラヤシの葉と竹の棒で、
日傘を作っている。水溜りに、野生イネ。ダサラのためにヒツジを売っていた。雑穀はないので、すぐに引き返す。
野生イネが水溜りに多い。
10:33、5367km。本幹線道に戻る。沢山のジュート繊維が運ばれていく。
10:55、5380km。マンゴ園が広い。鉄道を渡る。白鳥が車の間を抜けていった。
11:42、野生イネの大きな集団がある。ほとんどが水田ばかり。ジュート、ごく少したウモロコシ。
12:39、5484km。
12:55、5500km、ガソリンを入れる。
13:32、5528km。Lodgeを選ぶ。45m。Vishakapatnamに着く、ホテルに入って寝る。扇風機による風邪気味。
他の皆さんは海岸に観光に行った。

01-10-22

21:00、夕食。
5:30、起きる。晴れ。
7:20、空港に行く。パスポートも見せて、徹底的にチェックされ、荷物は何回も開けられた。特に、電気ポット、刃物類、
水筒、カメラ類、電池、にうるさかった。名前も控えられた。

9:05、Vizag 離陸し、
10:03にHyderabadに着く。すぐにICRISATに向う。Taxiが30km/hr以下で遅くて、やきもきする。車が遅いので、
本だけ注文してすぐに空港に戻る。
ICRISATにはvisitor担当がいて、案内してくれた。本館には本や農家のジオラマが展示してある。本屋が1時しか
開かず、昼休みであったので、急いで注文書を書き、1時に持っていった。男女2名居たがどうも不仲で、printout
に時間がかかった。航空便で送ってもらった。
15:00少し前に着く。Hyderabadでは結局、余裕があり、かなり待つことになった。厳重なsecurityであった。
VizagはX-ray装置がないのか、ビル入り口で、全荷物を開けて調べた。
18:00過ぎに、Bangaloreに着き、GKVKに向い、Hebbalで降ろしてもらった。部屋が不足で、別室で寝た。
まとめ： 調査行は無事修了した。一安心である。Kodoの畑はまったく見られなかったのは、残念だが、
1) 本年は雨量が豊かであった。 2) この15年余りに作付けが減少した。 3) 換金作物のniger seedとワタが幅を
効かせる事になったためであろうか。
kodo+S. glauca の混作畑は見られなかったが、 1) Eleusine coracana の畑に混入していた S. glaucaは長い穂と
強壮な稈を有していた。 2) Panicum sumatrenseの畑にも、S. glaucaは侵入していた。
S. glaucaは意識的には、播種していないし、食べないという。明らかに、南インドとOrissaとでは
形態に差がある。
種子のつき方が密なのはOrissaのほうである。しかし、南インドで、サマイと混作しているのは意識的である。
混合して食べることに栽培することに意味がある。
植物体の各部に出ている色や、全体の色の比較データがどう出ているのか、興味深い。
(第1既) 論文に示した、南インドのkodo畑中の(1個体のみ) S. glaucaは Orissa type のものであった。

収集腊葉標本のすべてをcheckして、地図上にplotしたら、もっと明確な分布図が得られよう。

01-10-23

6:00に起きる。
8:00、朝食。その後、ゲストハウスを移動する。Hebbal Campus内に行く。大きなteamが来るからという。
JagadishさんとSwamyさんが車で来る。

10:30にコントラドさんが来る。Dr. Jagadishの友人、雑穀産業化している。実際に生産している業者に連れられて工場に行く。とても良質な物である。若社長は1ヶ月イタリアに研修に行くという。太ったお兄さんであった。

AIのリコンファームはOK。大学に行き、1) Annual Reportをもらう。2) 証明書をもらう。その後若社長宅に行く。さらに、Dr. JagadeshのClubで夕食、家族とコントラット氏が同行する。自宅は3階建てで、とても広い。ビールを飲む。若社長が、種子の構造、種皮の層、branの構造を知りたいとのことで、文献を送ることになった。

01-10-24 6:00に起きる。8:00に朝食。その後縫い物をする。
12:30、GP0に行くが、sea mailは5kg以下でないとだめだというので、もう一度縫い直した。
MG. roadに行き、Nirgil, Kaveri など買い物をする。

01-10-25 15:00にケンタッキーで昼食をとる。17:30にゲストハウスに戻る。20:30、夕食と洗濯をする。
6:00、洗濯。7:30、Dr. Jagadesh来訪。
8:30、朝食。腊葉標本の土落とし、整理。
16:00、Yelahankaに行く。途中でdosaを食べる。Shivanandaiah宅と、Mantur宅に挨拶に行く。Yelahankaは大きく発展して、映画館まであった。道がわからなくなった。
16:30にゲストハウスに戻る。以後、地図の整理。野生イネの刈除去。その後、第一旅行の種子のduplicateを作る。
20:30、夕食時に、veg. とnonveg. が一緒になり、diningの雰囲気が悪かった。Maton curryを食べた。
22:30に寝る。

01-10-26 5:30、沐浴と洗濯。夜半は雨、昼は曇りから晴れ。
7:00、茶。8:30、朝食。標本干し。ほんの発送準備、3個口。種子のduplicateをとる。リストの作成。
14:30、昼食、xerox屋はみな休みであった。引き続き、標本干し。

01-10-27 20:30、夕食。21:30、沐浴して寝る。
5:40、起床して、荷物整理。7:00、お茶。8:30、朝食。
9:00、GP0に行く。2名は前のゲストハウスに洗濯物を取りに行く。リストのcopyもする。
9:30にGP0に着き、本を送る。荷物の窓を10cmほど取る必要があるとのことで、縫い目を切られた。
10:10、WMS hotelに行き、taxiでUAS Hebbal Campusのゲストハウスに行き、荷物を取り、2名がまだ居なかったので、もう一つのゲストハウスに見に行き、10:45にUAS-GKVK Campusに行く。皆、出払っていたので、荷物をすべて置いておいた。

また、UAS Hebbalのゲストハウスに戻り、洗濯物を待つが、来たと思ったら2点不足しているので、店まで行ってアイロンかけを待つ。

13:30、WMS Hotelにcheck inする。

14:30、昼食 at Raj ついに多くの肉類を食べてしまった。荷物整理。日本に電話。

19:00。20:30、夕食、Chinese Restaurantに行く。21:30に寝る。NHK衛星放送が入る。

晴れ、5:40に起きる。

6:14, Mantur一家が来る、6:29、一緒に結婚式場に向う。

7:05、Hallに着く。40分ほどで式が終わり、朝食の図あり。Millet Clubの懐かしい人々に会った。

9:00頃までいる。WMSに戻る。新聞読み。荷物のまとめ。標本干し。

この間にDelhiに出て、帰国した。

01-10-28

01-10-29

01-10-30

01-10-31